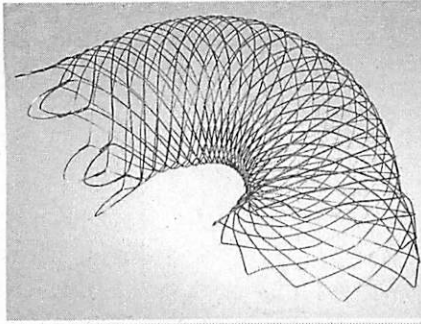


病院の ニッポン 実力 の力



東邦大医療センター大橋病院外科

進行した大腸がんでは、およそ1割の人が腸閉塞(へいそく)を引き起こす。がんによって腸管が塞がれてしまう。激痛を伴うだけに、開腹手術によって人工肛門をつけて汚物の排出口を作り、大腸がんを切除するのが一般的な治療法となる。人工肛門を取り外せる状態であれば、手術から3〜6カ月後に再手術。いずれにしても、

大腸がんで腸閉塞を起こした場合は、患者の身体的な負担は重い。そんな状況を一変させたのが、金属スtent(ト)写真上(ト)を用いた治療法。腸閉塞を起こした部分に、肛門から入れた内視鏡でガイドワイヤを通し、大腸がんを金属スtentで押し広げる。すると腸閉塞は解消され、腹部に数力所の穴を開けて行う

腹腔鏡下手術により大腸がんを切除すれば、1〜2週間で日常生活を取り戻すことが可能だ。そんな大腸がんの最先端医療を提供しているのが、東邦大学医療センター大橋病院外科。斉田芳久准教授(51)は、1993年に大腸がん

による腸閉塞の画期的な治療法を開発し、昨年の保険適用へと道筋をつけた。「患者さんの身体への負担をいかに軽くし、的確に治療を行うかを常に考えています。金属スtentの研究当初は、大腸専用のものでなく、食道用のスtentで手作りしていました。今は大腸専用のスtentも許可認可されていますから、もっと普及

ます。これからの医療は、内科と外科のコラボレーションが不可欠です。幸い私たちはそのコラボレーションがうまくいっている。その力を生かして、より新しい医療を提供したい」と話す斉田准教授は、常に新しい技術開発に力を注いできた。内視鏡的治療技術も積極的に学び、早期大腸がんに対して手腕を発揮。一方で進行した大腸がんには、腸閉塞の金属スtentを研究開発して、全国一の症例数を持つ。腹腔鏡下手術も当たり前。

大腸がん患者の早期復帰 金属スtent治療で支援



<データ>最新実績
・大腸がん手術件数 年間140~150件 (腹腔鏡下手術85%)
・大腸がん金属スtent治療件数 延べ175件
・病院病床数 458床
(住所) 〒153-8515 東京都目黒区大橋2の17の6 ☎03・3468・1251

すれば良いと思っています(斉田准教授) 大腸がんは形状がさまざまなだけに、腸閉塞を起こした部分へガイドワイヤを入れるのにも高度な技術が必要。症例を重ねないと難しい。そのため、斉田准教授は普及に努めているものの、全国的にはまだ限られた医療機関でしか行われていないのが実情だ。「内視鏡の検査や治療を行うのは、内科医という施設もあり

「ノーツは外科と内科の共同作業です。まだ適した道具がそろっていないとはいえません。今後、医療器具の開発が進むことで、ノーツは大きく進展すると思います」と斉田准教授。新たな治療開発のため日々前進中だ。(安達純子)

Dr. 中原英臣の 医の常識非常識

今回は実際のダイエットに役立つ遺伝子を紹介したい。肥満に関連する遺伝子はすでにいくつか見つかっている

ギン消費がうまくいかない。また「脱共役タンパク質1遺伝子」に変異を持つ人は、摂取した食事をエネルギーに変える機能が、標準の人と比べると効率がよくない。

逆に「ベータ2アドレナリン受容体遺伝子」に変異を持つ人は、おなかの周りに脂肪がつきやすくなる。脱共役タンパク質1遺伝子」変異の人は、下半身に

それぞれタイプによってダイエット法も違う。「リング型」は「飯や炭水化物の摂取を抑え、糖質を燃焼するビタミンB1を摂取する」とい

タカフジはiPhoneとiPadで紙面がそのまま読めるサービスを提供しています。App Store reアップストアから産経新聞HDをダウンロードし、タカフジを選んで購読手続きをすませ、

Pad版も登場



クイズ「ザ日本人」解答

第3問の正解は「ツイギー」 ツイギータイプのマネキンは1970年代前半に一斉風靡した。ミニスカートブームに伴い、露出する膝小僧がより人間らしく表現されている。

第3問の正解は「リアル」 愛称は「PAL」で「仲間」という意味。眼を開けたまま型を取る事が可能で人間の皮膚感などもリアルに再現された。 第4問の正解は「ナナちゃん」 1973年、名鉄百貨店セブン館1周年記念のシンボルとして誕生。一般

公募で「セブン」をもじったこの名前に決定。 第4問の正解は「オー！マイキー」 ベルリン映画祭への出品をきっかけに、ドイツやフランスをはじめ、韓国、アメリカ、イタリア、南米などでも放送されている